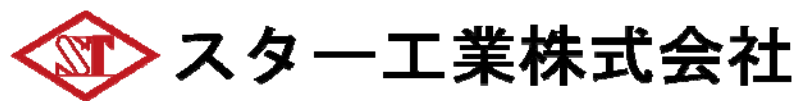




2015年度 環境活動レポート

(対象期間:2015年9月～2016年8月)



発行日： 2016年10月28日
改定日： 2017年4月26日

環境方針

スター工業株式会社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題と考えており、企業活動において環境負荷の低減を全社一丸となり積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油、灯油）
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進します。
4. 使用水量の削減を推進します。
5. グリーン購入を推進します。
6. 工場周辺の清掃活動・社会的貢献活動への参加を推進します。
7. 環境に配慮した原材料を使用します。
8. 環境方針は全ての従業員に周知します。

制定日：2011/5/31

改訂日：2015/9/1

代表取締役社長 星本 昌俊

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
スター工業株式会社
代表取締役社長 星本 昌俊
- (2) 所在地
本社工場 〒670-0944 兵庫県姫路市阿保692番地
第二工場 〒670-0944 兵庫県姫路市阿保乙290番地1
下手野倉庫 〒670-0063 兵庫県姫路市下手野1丁目3番地5
駐車場 〒670-0926 兵庫県姫路市東駅前町62番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 営業部 木曾 一郎 TEL:079-224-8692
担当者 同上 同上
- (4) 事業内容
金属加工部品の製造 (主要製品:精密板金加工、機械加工、アルミ製缶溶接、切断)
不動産業(駐車場)
- (5) 事業の規模
製品出荷額 12.4億円(2015年度実績)

	本社工場	第二工場	下手野倉庫	駐車場
従業員	20名	70	-	5名
延べ床面積	1600m ²	4500m ²	3300m ²	4500m ²

- (6) 事業年度 9月～翌年8月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名: スター工業株式会社
関連事業所: 本社工場
第二工場
下手野倉庫
駐車場
対象外: なし
活動: 金属加工部品の製造
不動産業(駐車場)

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	507,498	791,215	765,904	835,840
電力使用量	kWh	1,183,213	1,370,401	1,330,003	1,480,678
ガソリン使用量	L	13,385	13,760	13,488	12,040
軽油使用量	L	10,668	12,028	10,487	11,681
灯油使用量	L	6,167	9,357	9,409	8,820
廃棄物排出量	Kg	9,830	8,930	7,410	6,090
一般廃棄物	Kg	5,250	5,000	5,200	5,000
産業廃棄物	Kg	4,580	3,930	2,210	1,090
総排水量	m ³	77	109	133	138
総商品販売金額	百万円	-	-	1,055	1241

□環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目		年度	基準値	2015年度	2016年度	2017年度
I. 二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		785,638	769,925 △2%	762,068 △3%	754,212 △4%
電力使用量削減	kWh 対基準		1,370,401	1,342,992 △2%	1,329,288 △3%	1,315,585 △4%
ガソリン使用量削減	指数 対基準		14.128	13.704 △3%	13.562 △4%	13.421 △5%
軽油使用量削減	指数 対基準		11.260	10.922 △3%	10.809 △4%	10.697 △5%
灯油使用量削減	L 対基準		8,900	8,722 △2%	8,633 △3%	8,544 △4%
II. 廃棄物排出量	kg 対基準		9,410	9,221 △2%	9,127 △3%	9,033 △4%
一般廃棄物削減	kg 対基準		5,480	5,152 △6%	5,096 △7%	5,042 △8%
産業廃棄物削減	kg 対基準		3,930	3,851 △2%	3,812 △3%	3,773 △4%
III. 水使用量削減	m ³ 対基準		109	106 △2%	105 △3%	104 △4%
IV. グリーン購入	対基準		39%	40%	41%	42%
V. 工場周辺の清掃活動			-	毎週末の工場 周辺の清掃	毎週末の工場 周辺の清掃	毎週末の工場 周辺の清掃
VI. 環境に配慮した材料使用			-	RoHS対応材料 の購入推進	RoHS対応材料 の購入推進	RoHS対応材料の 購入推進

注1) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2012年度関西電力公表の0.514 kg-CO₂/kWhを使用(2013年度以降)

(2) 2015年度実績

項目	年度	基準値	実績			
			(2015年9月～2016年8月)			
			目標	実績	達成率	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	785,638	769,925	835,840	91%	×
	対基準		△2%			
電力 使用量削減	kWh	1,370,401	1,342,992	1,480,678	90%	×
	対基準		△2%			
ガソリン 使用量削減	指数	14.128	13.704	9.702	129%	○
	対基準		△3%			
軽油 使用量削減	指数	11.260	10.992	9.413	114%	○
	対基準		△3%			
灯油 使用量削減	L	8,900	8,722	8,820	99%	△
	対基準		△2%			
II. 廃棄物排出量		9,410	9,221	6,090	134%	○
	対基準		△2%			
一般廃棄物 削減	Kg	5,480	5,152	5,000	103%	○
	対基準		△6%			
産業廃棄物 削減	Kg	3,930	3,851	1,090	172%	○
	対基準		△2%			
III. 水使用量削減	m ³	109	106	138	70%	×
	対基準		△2%			
IV. グリーン購入	%	39%	40%	41%	102%	○
	購入比率					
V. 工場周辺の 清掃活動		-	工場周辺の 清掃	工場周辺の 清掃		○
VI. 環境に配慮 した材		-	RoHS対応材の 推進	RoHS対応材 料の購入		○

注) 評価欄にて、○：達成、△：やや未達成、×：未達成
 $100 + (\text{目標値} - \text{実績値}) / \text{目標値} \times 100$

□環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
電力使用量の削減 (目標未達成)		
下記節電運動の継続 ・空調温度の適正化 (冷房26℃) ・冷房効率の向上 ・不要照明の消灯 ・設備の空転禁止	○	節電運動については周知されており徹底されてはいたが、受注量増加にともなう稼働時間増により目標は達成できなかった。効果は出ているものと判断し来年度以降も継続的に活動をしていく。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・エコドライブの推進継続	◎	エコドライブを推進し目標達成出来た。今後も継続が必要
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・エコドライブの推進	◎	エコドライブを推進し目標達成出来た。今後も継続が必要
灯油使用量の削減 (目標未達成)		
節減暖房の推進	○	目標達成には僅かに至らなかったが、受注増により可動時間が増加したことを勘案すると十分に効果があったと推測される。今後も継続して活動を行う。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	◎	分別により目標達成できた。今後も分別を徹底していく。
産業廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	○	分別により目標達成できた。今後もさらに分別の徹底が必要
水道水使用量の削減 (目標未達成)		
・節水利用の継続	△	工作機械増加により使用量が増加したが、節水利用の推進の効果は出ていると推測される。今後も継続して活動していく。
グリーン購入の推進 (目標達成)		
・エコ商品購入の推進	○	エコ商品購入を推進し目標を達成することが出来た。
環境に配慮した材料の使用 (目標達成)		
・RoHS対応材の使用推進	○	RoHS対応材を購入することで目標達成出来た。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	該当する要求事項	評価
廃棄物処理法	委託基準：一般収集業者の許可の確認、廃棄物収集運搬処理業者の許可の確認	遵守
	保管基準：60cm*×60cm以上表示、飛散・浸透防止	
	マニフェスト交付：A、B2、D、E票の保管（5年間）、B2、D票90日 E票180日以内に	
	送付されない場合は30日以内の知事への報告	
フロン排出抑制方	対象設備の定期点検	遵守
騒音規制法	特定施設の届出、地域別騒音基準の順守	遵守
振動規制法	特定施設の届出、地域別振動基準の順守	遵守
消防法	消火設備の定期点検 /少量危険物の保管管理と記録の整備	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

2015年度は受注量の増加に伴い電力使用量が増加した。電力使用量以外の目標に対しては活動の効果が現れてきていると思われます。ゴミの分別については啓蒙活動を推進したことにより効果みられましたので今後もより一層分別を徹底しゴミの削減に努めてもらいたい。